ご　あ　い　さ　つ

千　地　万　造
（関西自然保護機構理事長）

おはようございます。昨年の九月の臨時総会で，それまで理事長をなさっていました，兵庫医科大学の朝日先生に代り，私が理事長をやれということで，つとめさせていただいておるわけですが，皆さんの前で理事長としてご挨拶させていただくのは，これがはじめてです。今，司会者がお話しになった様に，この関西自然保護機構というのは，関西一円の生物学や地学，その他諸々の分野の研究者—厳密な意味の研究者ではなく広い意味の研究者が集まって，お互いに自然保護に関する情報交換，或いは調査研究を一緒にやりながら，その機構の予算の一部で，会員以外の方々の中でそういう研究なり調査なりを，すすめておられる方，或いはグループにも，若干の資金的なご援助を申し上げると同時に，これから後も，色々起ってくる自然保護問題についての我々の見解を，その時々に公にしていき，或いは行政に対しても提言をしていく，そういうことを目的にしております。

関西は，国際新空港に関連して今後，自然保護については色々な分野で，いろいろなところで，多くの問題が起ってくると思います。そういう意味からも，この機構として，これまで何年間か続けてまいりました指標生物の調査，研究，そういったものに，もう一度，それを考えなおして，今後の自然保護の問題に役立てていきたい。或いは，我々がこれから後，調査，研究をする１つのステップとしたいという，そういう意味をこめて，今回のシンポジュウムを企画した訳であります。この企画にあたりましては，京都大学の村上先生を中心にして，理事の方々，色々お骨おりをいただきありがとうございました。どうか，今日，最後までご参加願って，色々ご意見を賜わりますようお願い申上げます。

それから私事にわたりますが，今年３月31日に22年におよぶ当館の館長職を下ろさせていただき，代りまして，大阪市立大の小川先生に後をお引受けいただく事になりました。昨年の９月の臨時総会で，この関西自然保護機構の事務局を，この館に移しました。その後半年間ほど，こういうシンポジュウムを開くための準備，それから今後の機構の運営その他について，色々準備してきたわけでございますが，幸い小川先生はこの機構のメンバーの１人でもありますし，前々から理事をつとめていただいた方でありますので，この機構の事務局は，私の進退に拘らずこの館におかしていただきまして，これから後，さらに発展させていきたいと思います。どうか皆様方のご協力をお願い申上げる次第でございます。本日は日曜日のお休みの中を，わざわざお集りいただきましてありがとうございました。